

♣ 扇 表紙絵を辿つて①

佐藤礼次 1

♥ まなぶということ  
詩 深夜のコンビニで

小島正雄 2



まなぶといふ」と

小島 正雄

歴史を前に進める運動を

## 特集 今年こそ『古典』をひも解きたい！

共産党宣言 労働者の未来をさし示す ..... 足立康次 6

賃労働と資本 摺取の仕組みが明快に分析された1冊 平地一郎 10

賃金・価格および利潤 心に残った「賃金制度の廃止」 菅原修一 13

空想から科学へ 自身の「飛躍」のために読む1冊 芳賀和弥 17

帝国主義 資本主義の「最後の段階」と労働者 熊谷重勝 21

国家と革命 革命前夜の提起から学ぶ課題 田中秀樹 25

資本論 資本主義的生産様式を知るための武器 川村訓史 28

マルクス自身の手による『資本論』の入門書 豊島栄三郎 32

『資本論』学習会が生まれるまで 宮下正夫 34

職場の法律相談 会社前でのビラまきや金融機関 五十嵐 潤 35

（がらまなぶ『賃金論』）⑨ 労働力の売りと買い 菅原修一 57

（国家と教育）⑭ 七生養護学校事件 意義と課題 谷口 聰 53

（実践・労働法）① 労働法逃れ許さじ 北川鑑一 61

「平和ボケ」ではありませんか。

私が所属していた労働組合で、青年部の運動方針に「政治闘争や反戦平和のたかいを記載しているから青年の結集が悪い」という意見が出され、議論になつたことを思い出します。いざ武力紛争となれば、戦争に動員されるのは間違なくなつていきそですが、私たちの運動があれば歴史の逆転を食い止め、前に進めることは可能です。それが必然です。こう書いていくと、どんどん未来が暗く若者からです。だから反戦平和の声を上げるのは、まず若い人たちからです。

こう書いていくと、どんどん未来が暗くなつていきそですが、私たちの運動があれば歴史の逆転を食い止め、前に進めることは可能です。それが必然です。昨年の労大まなぶ全国集会に多くの若い仲間が参加され、分散学習等での話し合いを通じて、人間の歴史は被抑圧階級の闘いによつて進められてきたことを学びあいました。

悲観したり、あきらめたりすることなく、かと言つて単なる傍観者でいることなく、まず正面は、暮らしやすく働きやすい環境づくりに向けて、今年も仲間といつしょに学びながら、前を向いて行きましょう。

（労働大学まなぶ全国連絡会議代表）

- ◆ キヤラバンサライ
- ◆ スポーツ時評
- ◆ メルボルン便り
- ◆ 経済を知ろう！
- ◆ 中國觀看
- ◆ 働くものと健康

48 46 44 42 40 38

- ◆ たちみ席
- ◆ この本を読んで
- ◆ 北から南から
- ◆ センターと
- ◆ みんなをつなぐ

68 65 52 50

57

カット＝野崎安希子